



BBLリーグ
57年度
文責
shiratsuyu

巨人鹿投手 現役引退

巨人の鹿投手(38)が16日、東京都内の球団事務所で記者会見し、今季限りでの現役引退を表明した。フアンからは巨人先発陣を21年間支え続けてきた選手の引退を惜しむ声が続々と聞かれる。

記者会見では「最近の鹿界は忙しく中々野球の練習をする暇がありませんでした。巨人の皆様には迷惑をかけてしまい申し訳ない。鹿は天国に帰ります。」と述べ、転生してのプロ入りについて問われると、「1

激闘! BBLシリーズ ペイスターズ 下克上V

57年度のPSではセ・リーグにおいてシーズン2位のペイスターズが4勝3敗で1位タイガースを下克上で破り、パ・リーグではシーズン1位のホークスが4勝3敗でBBLシリーズへと駒を進めた。

ペイスターズが勝利し、第4戦目でも5-0でペイスターズが勝利。日本一へ王手を掛けた。しかしホークスも粘りを見せ、第5戦目では6-4でペイスターズを下すと、第6戦目では4-4の引き分けとし、勝負は運命の第7戦目へとつれこんだ。

小林経旺投手が記録した64(通算46勝110敗)という数字を越え、歴代1位。この通算負け越し数という記録は、それだけ負けながらも長くチームに使い続けられた名投手であったことの裏返しでもある。

も鹿の事を思い出してくれるだけで鹿は幸せです。みなさんは鹿の代わりに野球人生を走り続けて下さい」と涙ながらに語った。



(写真)インタビューに応じる鹿選手

度生き返った身なのでもうこれから先二度と復活することは出来ない」と鹿医師に言われました。寂しいです、本当に寂しいです。もうこれから先は皆さんと会う事は出来ません。しかし心の片隅でいいので少しでも鹿の事を思い出して

【ツシムナゲネコ】(34)が9回1失点の好投を見せ、見事勝利。4勝2敗でペイスターズが59年度BBLリーグの日本一の栄冠を手にした。優勝したペイスターズはレギュラーシーズンにおいて打率はリーグ4位、防御率は2位と投打でバランスの取れたチーム。

セ・リーグ 順位表

1位	タイガース	92勝46敗5分	優勝
2位	ペイスターズ	85勝53敗5分	差 7
3位	ドラゴンズ	74勝60敗9分	9
4位	カープ	77勝65敗1分	1
5位	スワローズ	48勝89敗6分	26.5
6位	ジャイアンツ	39勝98敗6分	9

パ・リーグ 順位表

1位	ホークス	91勝46敗6分	優勝
2位	マリナーズ	76勝62敗5分	差15.5
3位	バッファローズ	69勝69敗5分	7
4位	ライオンズ	68勝71敗4分	1.5
5位	ファイターズ	58勝79敗6分	9
6位	イーグルス	50勝89敗4分	9

両リーグ合算 表彰・タイトル

野手部門

- 首位打者 バーサーカー(27タ初) 打率.345
- 最多安打 バーサーカー(27タ初) 安打213
- パルル(36バ初) 安打213
- 本塁打王 0.v.ビスマルク(33ド2回) 本塁打43
- 最多打点 神谷奈緒(29カ初) 打点119
- 虫山十蔵(36ホ6回目) 打点119
- 最高出塁率 パルル(36バ初) 出塁率.410
- 最多盗塁 ウ〜〜〜ッス!!(38カ9回) 盗塁51

投手部門

- 最優秀防御率 もんりさ(33ベ初) 防御率1.09
- 勝率第一位投手 シーラカンス(32バ初) 勝率.95
- 最多勝 シーラカンス(32バ初) 勝数20
- 最多セーブ ドクダミSP(29ホ3度目) セーブ53
- 最優秀中継ぎ 雑ス民(31ファ初) ホールド32
- 最多奪三振 愚地独歩(34ベ3回) 奪三振254